

第二の青春

第5期OB 松山 昌司

私は伊藤忠商事に入社し、第二の「青春」を謳歌しております。下記はその一例です。

◆運動会

運動会は毎年開催され、各カンパニーが己の意地とプライドをかけて競い合う。参加者は全員ガチである。中でも一番盛り上がるのは各カンパニー対抗の応援合戦である。昼休みや仕事の合間をぬって会議室や食堂で毎日練習。休日も代々木公園で練習するという力の入れ様。衣装、準備にかかるお金も桁違い。その頑張りを見かねては無駄にはできないということで、今年は大雨の中強行され、全員ずぶ濡れになりながら最後の競技までやり遂げた。今年で3回目の参加となるが毎年、やり遂げた達成感と参加者同士の一体感は格別である。

◆飲み会

1年間に何回やらないといけないんだと思うくらい、若手は一芸を求められることが多い。12月は特に多く、結婚式も重なって10回以上裸になっている。毎回ネタを探したり、作ったりするのは大変である。若手だけが一芸をやると思いきや、上の人もきちんやるのである。率先して！しかも、面白い面白い。20年目になってもやらないといけないのかと思うとゾッとするが、場を盛り上げることに對する情熱には脱帽である。



サッカー部の仲間と（著者は後列右端）

◆サッカー部

学生時代サッカー部に入っていたとかではないが、なんとなくできそうに思い入部した。部員はみなサッカー歴二桁の人ばかりで、練習には参加できるものの試合には中々出してもらえず、社会人にもなってボール拾い、声出しをすることが続いた。木曜と土曜の練習に毎週参加し、寮に帰って後輩を無理やり誘ってのパス練習を続けた結果、スタメンではないがFWのサブとして何とか出させて頂き、公式戦でも点を決めるまでになった。今ではサッカーをしないと次の週の調子が悪くなるほどである。

体育祭、文化祭、部活と、もはや社会人とは思えませんね。しかし、仕事もきちんとやっているので心配御無用。毎日フランス人と喧嘩し、納期を詰めたり、クレーム交渉をしたりとエキサイティングな毎日を送っている。

今思えば、自分にあつた会社に入れて本当に良かったと思っている。

(氏田、入らんでよかったな。森本、大変やな。)

もしこの文章を読んで商社に対して興味を持った現役生がいれば、いつでも連絡下さい。お昼奢ります。



三田祭 2011 に訪れた著者と先生